

自然環境（里山林）保全活動を実施

県民みんなで作る森づくり

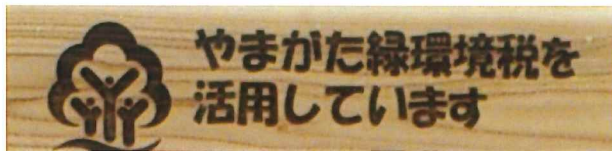


やまがた緑環境税

ヒメサユリを育てる会とざわ



5月の桜



ヒメサユリの特徴と戸沢村における増殖方針

村の花であるヒメサユリは、種から開花するまでに6年程かかり、ウイルスに弱い非常にデリケートな稀少植物です。本村の今神山や浄の滝周辺（自然環境保全地区）に野生種が群生していますが、群生場所は、険しい山道沿いにあり、通常では行くことが非常に難しく、村民に広く知られていない状況にあります。戸沢学園の校章のデザインにはヒメサユリが採用されており、小・中学生も含め、村民にヒメサユリを身近に目にしてもらうため、誰もが車で行けて鑑賞できる「ぼんぼ館」周辺の里山「源治盾」周辺にヒメサユリの球根の植栽活動を行い増殖を図っていくという目的のため、ヒメサユリを育てる会を令和3年4月に立ち上げ、試行錯誤しながらの地道な活動を展開中。継続した取組みで、少しずつヒメサユリの植栽地（増殖場所）を年々広げていきたいと考えています。その保全活動の中で学校等と連携した森づくり体験活動や自然環境学習会及び会員相互の情報共有のためのチラシ発行も実践していきます。

6月初旬 源治盾の地植えのヒメサユリ



7月～8月源治盾に咲き誇る山ユリ

誰もが車で行けて、草花の鑑賞ができる里山「源治盾」周辺に稀少植物ヒメサユリの群生するエリアの拡大を図る

5月⇒桜ヒルズの桜の鑑賞

5月下旬から6月初旬⇒ピンクの可憐なヒメサユリの開花

7月～8月⇒山ユリの花が咲き乱れる癒しの場の創出

一連の流れの中⇒地域活性化につなげていく構想

村の花に指定されているヒメサユリは6月初旬に開花する稀少植物。

令和4年から毎年6月定例村議会開会時に戸沢学園生徒からヒメサユリのポットを村議会に提供。

地域への情報発信のため緑環境税普及啓発木製プレートを活用し、役場ロビー及び村内公共施設に展示PR。

5/25 自然環境保護学習会



6/1 植栽箇所の除草作業



11/2 秋の里山林除草作業

土伏せした種子の掘り起こし作業



11/16 戸沢学園の生徒をまじえた球根の植え付け・種の土伏せ作業



令和6年度 実施活動内容

・里山整備活動を通じた稀少植物「ヒメサユリ」(村の花)の増殖及び植栽箇所の自然環境保全活動の実施。

その中で、子どもたちも巻き込み、中央公民館での自然環境保護学習及び豊かな森づくり活動も実践していく。

- ・総会開催 4/27
- ・県内先進地講師を招いた自然環境保護学習会 5/25
- ・6月定例村議会議場にヒメサユリの鉢の提供 6/7
- ・年2～3回の土いじり 6/1、11/2
- ・先進地視察・種取り 10月下旬
- ・種の土伏せ、球根の植え替え作業、地植え、越冬準備活動等 11/16

事業費は285千円(内補助対象経費は260千円)



活動を行った感想

可憐な村の花ヒメサユリを身近に感じることができた。地域の皆さんと活動ができ、里山の大切さ・価値を見つめ直す良い機会となった。今後も自然・ふるさと戸沢村を大切にしたい。《戸沢学園8年生Tさん》

連携協力団体：戸沢村教育委員会、戸沢学園教職員、戸沢学園児童生徒